

中学校英語科における砂漠化を題材とした環境教育教材の開発

9519 鈴木 和美
指導教員 市川智史教授

1. はじめに

地球環境問題は、今日の環境教育において重要な学習テーマであり、学校教育においても重点を置いて取り組むことが求められている。しかし、実際は社会科、理科、技術・家庭科が中心で、外国語（英語）での実践報告はあまり見られない現状がある。中学校英語科は概ね週に4時間授業があり、英語科において使用できる環境教育教材を開発することは環境・環境問題に対する生徒の関心や理解を培う上で有意義なものであると考える。そこで本研究では、黄砂現象をきっかけにして砂漠化の問題について学習する中学校英語科の環境教育教材の開発に取り組むことにした。

2. 研究方法

黄砂現象を導入として、砂漠化の原因について考え、砂漠化の現状を学んだ上で防止方法について考えるという内容で教材を作成した。そして、作成した教材をもとに授業案を作成し、中学校で試行実践の授業を行い、教材の実用性の評価に取り組んだ。（教材は7時間想定で作成したが、試行実践は3時間で行った。）

3. 結果・考察

選択肢設問の結果や授業中の様子から、授業はわかりやすく新たな知識を学べるものであった。

教材については、選択肢設問の結果などから、英語は難解であったがプリントの活用などによって生徒の理解を深めることにつながった。ただし、中学校で使用するためには改善が必要である。

教材を用いた授業で、生徒に砂漠化を知るきっかけを作ることができた。また、生徒に環境問題に関心を持たせ、自分にも関わる問題だということに気づかせることもできた。ただ、地球環境まで考えさせるにはもう少し改善が必要である。

4. まとめ

試行実践の結果をもとにして、中学校3年生の5月頃を想定して教材と授業案の改善を行った。

教材の改善点

改善1：教材の内容を減らし、難しい表現を使用しない

改善2：ストーリー展開を変更し、文章量を減らす

改善した教材を使用した英語の授業7回、総合的な学習の時間の授業4回を使った授業案を作成した。

本研究で作成した教材がきっかけとなり、中学校英語科での環境教育が充実したものになることを期待する。

